

①活動概要

今もなお、港町の風情を色濃く残している日南市油津地区において、通り名を通じた道案内を実施。「まぐろ通り」などの地元の通称で呼ばれている「通り名」などを道に明示し、マップを片手に油津地区を散策する楽しさを来訪者に味わってもらった。また、地域住民による通り名の命名や民・官・学のパートナーシップによる散策マップの作成などのプロセスを通じた地域コミュニティの再生を図った。（平成19年度実施）

②活動の体制

団体名等		役割
油津みなと街づくり委員会 事務局長		プロジェクトリーダー
地域住民		「通り名」命名、地域資源発掘
きらめきライン	日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会（民間）	企画立案、ハード・ソフト整備、モニターツアー運営
	日南海岸地域シーニックバイウェイ行政連絡会（行政）	各種段取り支援、ハード・ソフト整備
	宮崎大学	アンケート調査、評価

【費用：国土交通省の社会実験として実施】

③苦労した点や工夫した点

- ・通り名の命名や散策マップの作成等にあたっては、民・官・学が参加するワークショップを開催し作り上げた。
- ・より多くの地域住民の方に取り組みに参加して頂くため、4地域でワークショップを開催した。
- ・標示板にQRコードや昔の写真を貼付し、付加情報を提供。

④活動の効果

- ・地域の埋もれていた資源の発掘。
- ・ワークショップを通じて取り組みに参加することで、地域住民の地元への愛着や誇りが醸成された。
- ・官民協働で取り組むことで、地域と行政との連帯感や信頼関係が築かれた。

⑤今後の活動

- ・社会実験では、飢肥杉を案内板の材料として用いたため、劣化等の問題もあり、今後、本格実施に向け、標示板の材質について検討するとともに、標示板の設置箇所や管理手法について検討を行っているところ。



ワークショップの様子



通り名標示板設置の様子



モニターツアーの様子



通り名標示板

問合せ先 担当：国土交通省 宮崎河川国道事務所 調査第二課
電話：0985-24-8221